



恒例の「酒蔵びらき」開催方法を変更

8蔵元の新酒を ドライブスルーで販売

城島酒蔵びらきは、新型コロナ感染防止のため通常の開催方法を変更し行います。2月12日(土)と13日(日)に城島総合支所駐車場で新酒や特産品を販売します。



あなた好みの酒を見つけよう!!

城島酒蔵



昨年のドライブスルー販売の様子。感染症対策を徹底したスタッフが接客します

城島町と三瀧町を中心とした8酒蔵が合同で新酒を販売します。酒の他に「朝摘みあまおうの苺パフェ」や「8蔵元をイメージした個性豊かな8種のソースが選べるハンバーガー」、「フルーツビネガードリンク」も販売予定。銘酒や特産品をぜひお楽しみください。

【日時】 2月12日(土)、13日(日)の9時から16時まで

【場所】 城島総合支所駐車場

【販売方法】 ドライブスルー方式

◎城島酒蔵びらき実行委員会事務局（久留米南部商工会内、☎0942・644・3649、FAX0942・644・4850）

コロナ禍で求められる地域のチカラ

新しい活動スタイルで 絆と活力を



インタビュアーに答える西川会長(左)と島田さん

市内には46の校区コミュニティ組織と約680の自治会・町内会があり、コロナ禍の中、感染症対策をしながら、新しいスタイルでのまちづくり活動に取り組んでいます。地域の取り組みについて、上津校区野添町内会の西川勝会長と文化体育委員の島田茜さん取材しました。



マスクや消毒で感染症対策をして秋祭りを楽しむ子どもたち

子どもの笑顔が活力に

同町内会には、約940世帯が加入しています。昨年は新型コロナで夏祭りを中止して、10月の秋祭りに変更。文化祭と同時に開催しました。島田さんは「感染症を心配する声もありましたが、マスク着用や消毒、各ブースのスペース確保、飲食物を持ち帰りにするなど感染症対策を徹底し、理解を求めました」と振り返ります。結果、町内の600世帯以上の皆さんが来場。「久しぶりに子どもたちの楽しむ姿が見れた」という喜びの声も寄せられました。西川会長は「子ども向けのイベントを開催すると、保護者も参加するようになります。地域活動の広がりが住民の絆や郷土愛を育み、子どもたちが将来も野添で暮らしたいと思う好循環を目指しています」と話しました。

安心して参加できる工夫

「コロナ対策をしながら子どもから高齢者まで安心して参加でき

まちづくり活動をオンラインで

各校区では、オンラインでの会議やイベント開催などに取り組んでいます。高齢者向けスマホ教室の開催などICTに慣れ親しむための活動も行っています。上津校区では、LINE(ライン)を使って門松づくりをライブ配信しました。



蔵元イチ推しの銘酒

旭菊酒造
銀生にこり酒 旭菊
米のうまみと芳醇なコク、優しい甘さで口当たりのよい味わい

池亀酒造
しぼりたて生酒
フルーティーでさわやか、透明感な味わいのしぼりたて辛口純米酒

筑紫の誉酒造
無ろ過生原酒 初蔵だより
酒蔵びらき限定
新酒の芳香と口当たりの良い濃厚な味わい

花の露
しぼりたて純米大吟醸生原酒
酒蔵びらき限定
華やかな香り、米の旨味、スッキリとしたのと越しとバランスが良い

比翼鶴酒造
今朝しぼり酒蔵びらき限定
しぼりたての無濾過生原酒をそのまま瓶に詰めたフレッシュな味わい

万年亀酒造
純米大吟醸ふくろこし 万年亀
もろみを入れた袋を絞らずに濾したまろやかで穏やかな口当たり

瑞穂錦酒造
純米酒 鬼夜
すーっと抜ける口当たり、ふくよかな米の味わいが広がる懐かしい昔ながらの味

杜の蔵
純米生原酒 酒蔵びらき限定
三瀧の酒米「夢一献」らしい、品の良い柔らかさを備えたフレッシュな味わい



紹介した以外にも各蔵自慢の酒を販売します